

わかやま

No.12

和歌山県精神保健福祉センターだより 2002年7月

「保健師の活動と共同作業所運動」

社会福祉法人やおき福祉会 常務理事 寺沢 啓三

私は今、田辺市内に出来た、ひきこもり青少年の居場所「ハートツリーハウス」の運営にボランティアとして関わっている。ここは、ひきこもりがちな青少年が、家から一步外に出て、社会参加していくための場所である。5月にスタートしたばかりであるが、すでに何人かの青年が利用し始めている。元不登校児への支援をしている人たちが、行政に働きかけながら、関係者の力を結集して立ち上げてきたものである。この設立にあたって、とても大きな役割を果たしてきたのが、田辺市ひきこもり相談窓口担当の保健師である。

私が初めて保健師（婦）という職種の方々と関わったのは、18年前、知的障害者作業所の所長をしていた時であった。精神障害者が利用できる施設は全く無かった時代である。精神保健を担当している熱心な保健師が、無理を承知で、『(知的障害者の)施設を利用できないでしょうか』と相談に来られるのである。今は施設の種類によっては、障害の種別を超えて利用することが出来るようになってきているが、その当時は、制度上利用不可能であった。結局、施設を利用できなくて、当事者、家族とともに肩を落としていかれるのであった。障害者の実態と制度の狭間に直面して、熱心な保健師ほど‘無念の情’が感じられるのであった。

その後、精神保健法が出来、私自身も精神障害者の施設に移り、保健師の方々と連携して仕事をする機会が多くなった。そして、紀南地方で何人かの保健師と一緒に家族会や作業所づくりに取り組んできた。その結果、家族会、作業所、デイケア等の活動が活発になってきた。いずれも、担当の保健師、精神保健福祉相談員が、障害者、家族、関係者、住民の願いを聞いて、行政の施策に反映させてきたものである。その方々に共通しているのは、「通常の業務」より一歩進んで住民サイドに近づいていく姿勢と、障害者に寄せる‘情’である。熱心な保健師の活動と、地域の共同作業所運動とが結びついたところは、飛躍的な前進をしているのである。これは、行政の職員である保健師が、地域の共同作業所運動に関わることによって、障害者、家族、地域住民の要望を肌身で（頭と心で）つかむことになり、それが施策に反映され、顔が見え血のかよった実践が行われるからである。

思い起こせば、私が田辺に来て最初に勤めた作業所は、「ハートツリーハウス」から100メートルしか離れていない。20年経って同じ地域に違う形で入っていくことになった。長年共同作業所運動に携わってきて、住民福祉をすすめる上で、保健師の役割がいかに大きいかを感じている、今日この頃である。

もくじ

- P1 保健師の活動と共同作業所運動
- P2 精神障害者居宅生活支援事業
- P3 はじめまして 南紀ひまわり作業所です
- P4 こころのバリアフリーをめざして
精神保健福祉ボランティア「はなみずぎグループ」
- P5 メンタルヘルスニュース
朝井所長のひとりごと
- P6 は一とふるネットワーク「健康対策課 中川浩二さん」
研修のお知らせ

和歌山県精神保健福祉センター

〒640-8319 和歌山市手平二丁目1番2号 県民交流プラザ“和歌山ビッグ愛”2階

☎(073)435-5194 FAX(073)435-5193

精神障害者居宅生活支援事業

ノーマライゼーションの理念のもと、精神障害者の自立及び社会復帰を促進するためには、在宅の精神障害者が自立して生活できる地域づくりの推進、日常生活の支援が必要です。

しかしながら、これまで精神障害者に対する日常生活の支援を行ってきた家族等が高齢化したり、単身で生活する精神障害者が増加していることなどにより、公的施策による生活支援体制の整備が求められています。そのため、平成11年の精神保健福祉法の一部改正により、既に法定化されている精神障害者地域生活援助事業（グループホーム）に加えて、自宅で生活している精神障害者やその家族に対する支援体制を充実させるため、精神障害者居宅介護等事業（ホームヘルプサービス）と精神障害者短期入所事業（ショートステイ）を法定化し、3事業を合わせて精神障害者居宅生活支援事業として、本年4月から住民の方々に最も身近な行政機関である市町村において一体的に実施されます。

本県の各市町村においても、居宅生活支援事業の円滑な実施に向け、体制整備が進められています。

精神障害者居宅介護等事業（ホームヘルプサービス）

日常生活を営むのに支障のある精神障害者の家庭等をホームヘルパーが訪問して、掃除、調理などの家事援助や通院の付き添い、日常生活に関する相談などを行い、住み慣れた家庭や地域社会での日常生活を応援します。

(利用できる人) ・精神保健福祉手帳を所持している方

・精神障害を支給事由とする障害年金を受けている方

(利用方法) 精神障害者又はその方が属する世帯の生計中心者が市町村に申し込みます。

市町村から発行された利用者証を市町村が指定するホームヘルパーを派遣している社会福祉協議会や社会福祉法人などの事業所に提示して利用契約を結びます。所得に応じて利用料（0円～950円）が必要です。

精神障害者短期入所事業（ショートステイ）

精神障害者の介護等を行っている方が病気などの理由により、精神障害者を居宅において一時的に介護することができない場合に、精神障害者を生活訓練施設等において介護する制度です。

(利用できる人) 精神障害があり、在宅で生活している方

(利用方法) 精神障害者又はその方が属する世帯の生計中心者が市町村に申し込みます。

利用者は、飲食物費相当額の利用料が必要です。

(利用期間) 原則として7日以内

(予定事業所) 麦の芽ホーム（和歌山市）、ゆうあいホーム（田辺市）、杉の郷えぼし寮（新宮市）

精神障害者地域生活援助事業（グループホーム）

精神障害者が地域で共同生活を営むことを支援する制度です。世話人を配置し、食事の世話、日常生活における相談、指導等を行うことにより、自立生活を支援します。

(利用できる人) 精神障害があり、一定程度の自活能力がある、日常生活を維持するに足りる収入があるなどの一定の要件を満たす方

(利用方法) 医師による入居時の留意事項が記載された意見書を添付して、グループホームを運営しているところに申し込みます。家賃、飲食物費、光熱水費等が必要です。

(県内のグループホーム)

合計10カ所 定員合計50名

麦の郷社員寮（和歌山市）、麦の郷第二社員寮（和歌山市）、ホームあすなるA（和歌山市）、ホームあすなるB（和歌山市）、ホームあゆみ（岩出町）、グリーンスペース（吉備町）、クローバーホーム（田辺市）、ほわいとホーム（白浜町）、第二ほわいとホーム（白浜町）、ミサキハイツ（串本町）

くわしくは、お住まいの市町村の精神保健福祉担当課・保健センター等にお問い合わせ下さい。

（文責 健康対策課 服部 真悟）

このコーナーでは県下の社会復帰施設を紹介します。
第2回は、那智勝浦町にある南紀ひまわり作業所です。
指導員さんから紹介していただきます。

はじめまして

南紀ひまわり作業所です

南紀ひまわり作業所は、心の病を持つ人が、住み慣れた地域で、いきいきと「あたり前の生活」が送れるように集団での作業訓練、生活訓練を通じて自立心を養い、社会に出ていくことを目標とする場所です。

働きたいがちょっと不安がある方、人付き合いが上手くいかず悩んでいる方、やすらぎの場や、話し相手が欲しい方、是非見学に来て下さい。



<作業所開所までの経過>

障害を抱え相談できる人も少ない中を暮らしていた当事者、家族が一人で悩まず相談し合える家族同士の交流の場を求めて、平成10年4月に家族会「ひまわり会」が誕生しました。

当初の家族会は、3家族だけの集まりでした。活動内容は悩みをうち明けあったり、相談し合ったりから始まりました。少しずつ家族会の人数も増えて、今では7家族にまでなっています。

すすめていく中、病院のデイケアに通っている当事者が広告紙を利用してアンデルセンのカゴづくりをしていることを知り、又、そのカゴの出来栄えに感動し、「私たちもやってみよう。作ってみたい」という気持ちになり、家族もデイケアに参加させてもらいながら一緒にカゴづくりを始めました。

平成13年4月には、那智勝浦町の温かいご配慮により、「旧 宇久井保育所」を活動の場としてお借りすることができ、「南紀ひまわり作業所」を開設することができました。開設してからの1年間は、月曜日、木曜日の週2回の開所でしたが、精神に障害がある人の社会復帰の場としてその役割を担っていくために、毎日の開所を目指して準備をすすめました。

精神障害者に対する理解を広げ作業所運営を確かなものにしていくためにも、社会の見識豊かな人、福祉知識の豊かな人のご参入をお願いし、平成13年12月に「南紀ひまわり作業所運営委員会」を、平成14年4月からは、職員を2名配置。新たに「南紀ひまわり作業所」をスタートさせることになりました。

<南紀ひまわり作業所の願い>

- ◎ 障害者への差別と偏見のない社会をつくろう。
- ◎ 生きがいとなる「いこいの場・やすらぎの場」をつくろう。
- ◎ ひとり、ひとりが独りじゃない。

<現在の活動状況>

開所日は、祝祭日を除く月曜日から金曜日の 9:30~16:00です。

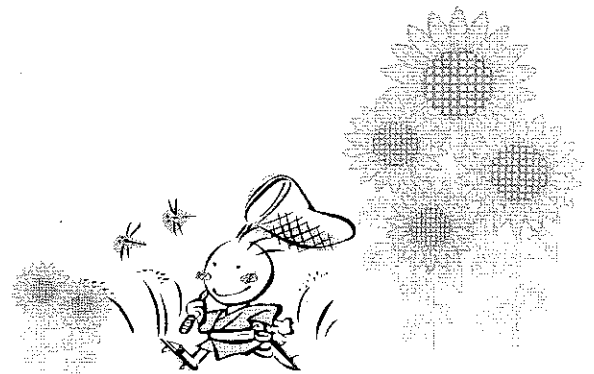
作業内容は、開所して間がないので利用者の状況を考え、今は作業を中心にせず、やすらぎの場、憩いの場としてゆったりと過ごせる環境にしています。

レクリエーションは、当事者の希望を尊重し話し合いながら、イチゴ狩りやドライブなどに出かけたりしています。これからは、海が近いので海水浴に出かけたり、クッキーを焼いたりなど楽しくできることをやっっていこうと思っています。

<今後の抱負>

東牟婁福祉圏域では障害者の福祉資源が少なく、とりわけ精神障害者の人たちの資源が少ない状況です。

「南紀ひまわり作業所」を、心に病を持っている人たちのやすらぎの場、憩いの場として利用してもらえるような作業所にしていきたいと考えています。



連絡先 〒649-5312 東牟婁郡那智勝浦町宇久井 214-1
南紀ひまわり作業所

TEL 0735 (54) 1465

FAX 0735 (54) 1465

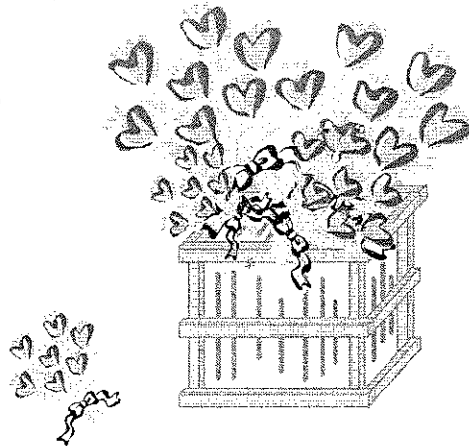
このコーナーでは、シリーズで県内の組織やグループの活動を紹介します。

精神保健福祉ボランティア「はなみずきグループ」

こころのバリアフリーをめざして

精神障害者が地域で生活していく時、精神障害に関する正しい情報を伝え、当事者や家族が抱える困難に共感し、それを代弁するボランティアの存在がとても心強いものになります。ボランティアのごく当たり前の自然の付き合いは、精神障害者の閉ざされた生活に社会の風を送り込み、社会的偏見という壁に風穴を開けることができます。

当事者と地域住民の架け橋として様々な支援をしている「はなみずきグループ」代表の原さんにお話を伺いました。



Q 「はなみずきグループ」の活動について聞かせてください。

はなみずきグループの始まりは、地域高齢者グループに声かけして、ふきのとう共同作業所のバザー物品の制作を2年間していたことからです。その後、地域ボランティア、精神保健ボランティア、民生委員にも声をかけ、賛同を得たメンバーが会員となり、平成13年4月に結成されました。そして、いちごの会、町栄養士会の有志も参加してくれるようになり、6部門により構成されるようになりました。主な活動内容は、バザー物品の制作や、日常生活自立へのお手伝いとして作業所での料理教室の指導や、町民対象の精神障害者を正しく理解する学習と会員がより積極的に活動をして行くには何をどのように理解し、支援し、協力し、見守って行くのが望ましいのか等についての講演会の開催や、サツマイモの作付けや芋掘り、ミカン狩り等作業所メンバーの屋外教室の企画実施等を行っています。会員は現在59人で活動しています。

Q 精神保健福祉ボランティアをしようと思ったきっかけは？

以前、保健所の精神保健ボランティア講座を受講していました。その後、作業所の指導員からバザー物品の制作をしてくれる人がいないかと相談され、和歌山県いきいき長寿社会センターの高齢者地域活動指導員をしていた関係で、地域の高齢者に声かけをして作業所の支援を始めたのがきっかけです。

Q 「はなみずきグループ」の活動により得るものは？

当事者や家族の方、地域住民の方、行政や様々な関係者の方と接し、様々な経験をさせていただきました。その中で、地域全体が変わってきたと感じています。一人では何も出来ないけれど、皆で力を合わせれば大きな力になり、成し遂げていけるのがわかりましたね。根気と継続の大切さを学びました。そして、ご家族ご本人の立場になると言葉では言い尽くせないほどの大変さがありました。

Q 活動の中で困難なことは？

町から、年間2万円の助成金をいただき、様々な支援をしていただけていますが、いろいろの活動を展開してくると資金が不足します。資金作りが大変ですね。

Q 他のボランティアサークルや関係機関との連携は？

他のサークルとの連携は特にありませんが、グループのメンバーが他のボランティアにも関わっており、相互に支援しあっています。町役場や保健所、町ボランティアセンターには様々な支援をしていただけています。また、地域の皆さんとも交流を持っています。

Q 精神保健福祉の関係者に伝えたいことは？

関係者の皆さまには、とてもよくしていただいて感謝しています。要望的なことは特にはないのですが、強いて言うならば、私が個人的に感じていることなのですが、援助者の立場にある方には、援助者と患者という目には見えないバリアというか線が引かれているような感じに受け取れる事もあります。私たちボランティアとは立場が違うので当たり前だとは思いますが、少し気がなりました。

Q 一般の人たちに伝えたいことは？

地域との交流を大切に活動することで、ふきのとう共同作業所は何をしている所か、仲間と接することで理解していただき、協力していただけるようになりました。誰がなっても不思議ではない病気なので、共に地域に根ざして歩んでいきたいと思っています。

連絡先 〒640-0416

那賀郡貴志川町長山1649

ふきのとう共同作業所内

はなみずきグループ

窓口 TEL&FAX

0736 (64) 8255

和歌山メンタルヘルスニュース

県内の精神保健福祉関連の最新情報と当センターの活動をお知らせします。

(1) 手帳・通院医療費公費負担制度の業務が4月からセンターに移行しました。通院医療費公費負担申請及び診断書による手帳の申請については、毎週木曜日に、判定会議を行っています。申請窓口が変更したことや、居宅生活支援事業が開始されたことの影響については、今のところ何ともいえませんが、今後動向を見守っていききたいと思います。

(2) 平成14年度から、精神医療審査会の事務局を精神保健福祉センターで持っています。毎月第4水曜日に各合議体の審査が行われ、定期病状報告書や入院届の審査・退院請求の審査を行っているところです。6月26日に全体会が開かれ、会長に有田佳秀弁護士・副会長に上野半兵衛医師が選ばれました。精神障害者の人権を守るために、新たな体制で取り組みが開始されました。

(3) 5月29日、精神保健福祉関連新任者研修を実施しました。今年是一部所属機関別の分科会形式でグループワークも取り入れました。全体で86人の方が受講され、市町村、保健所等、行政機関関係職員を対象とした分科会には、特に市町村職員の方を中心に41人の方が出席されました。グループワークでは、熱心に意見交換をして頂き、研修全体として概ね好評だったようです。

(4) 6月8日、平成14年度和歌山県精神障害者家族会連合会総会が、県民交流プラザ和歌山ビッグ愛で開催されました。今年度の講演は、和歌山県福祉保健部次長の佐原康之さんの「和歌山県における精神障害者居宅生活支援事業等について」というテーマでおこなわれました。参加者は、約200名でした。

(5) 6月23日、平成14年度和歌山県精神障害者団体連合会総会が、和歌山市ふれあいセンターで開催されました。平成13年度の活動報告がされ、平成14年度の活動方針について熱心に議論が交わされました。精神障害者の人権110番も、昨年に引き続き実施されます。

(6) 6月29日、河北コミュニティセンターにて、地域精神保健福祉シンポジウム「地域に生きる」が開かれました。この行事は、麦の郷アドボカシーセンター5周年及び居宅生活支援事業市町村実施を記念して行われました。野上厚生総合病院上野医師の講演の後、当事者のリレートーク、シンポジウムが行われ、会場から河北地域にも、是非とも生活支援センターが必要であるとの声もあげられました。

(7) 7月6日、和歌山市勤労総合センターにて、麦の郷「将来構想」シンポジウム～「笑顔と元気」麦の郷プラン～が行われました。麦の郷の宮本さん・江上さん・柏木さんがシンポジストとして話題提供されました。麦の郷の勤労支援・生活支援・一般企業から、それぞれの立場で麦の郷の今後を皆さんが熱く語られ、今後、具体的なプランがだされる予定です。

朝井所長のひとりごと

韓国の「赤い」パワーと、日本の「青い」ウエーブに魅了されたワールド・カップも、6月末の決勝戦を最後に幕を閉じた。学生時代、和医大サッカー部マネージャーだった私にとっても、この大会は、オフサイド・トラップなど、技術面での優れた技を見れるいいチャンスだった。

だが、それと同様に、各国の選手にスキン・ヘッドが多いことに驚きを隠せない。自分の頭の毛が少々抜ける事を考えれば尚更だ。アジアの気候に合わせるためか？ヘディングをするにはスキン・ヘッドの方がやりやすいのか？・・・対照的にベッカムのモヒカン頭も日本中にファンを急増させた。

しかし、その騒ぎの中で、我が阪神は8連敗を喫し、3位にまで転落してしまった。巷では、私の気持ちも知らずに、夏の到来を待ちわびたかのように、海開き、山開きが行われている。今は何をやる気にもなれない。今はただ、新聞を見て、阪神の勝利の記事をスクラップする日を夢見るばかりである。

今日もセンターだめの原稿をせかされた。私に言わせれば、そもそも原稿などという物は、遅れて当たり前。せかされることに意味があるのだ。

今年の夏は、暑い日と降水確率に悩まされることになるだろう。

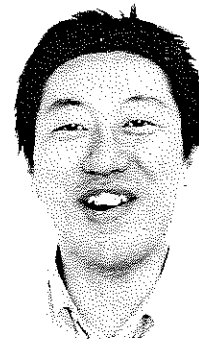
今日も暑い
皿の水も
蒸発しそうだ



精神保健福祉の第一線で働く関係スタッフの紹介コーナーを作りました。
第一弾は、保健所の相談員さんシリーズです。

はーとふるネットワーク

今回は、健康対策課の中川浩二さんです。



センターだよりで一番人気のコーナーにご招待頂きありがとうございます。

— 和歌山県に就職して何年になりますか？

平成6年5月の入庁ですから丁度8年ですね。少し早すぎる30代。年々加速をつけて歳月が過ぎていくような感じ。もうすぐ定年です。

— それまではどんなお仕事をされていましたか？

平成元年に卒業後、大阪の精神科病院に就職しました。そこでは主に入院患者さんの退院の援助をしていました。平成5年1月に精神科の診療所に転職、今度は患者さんの再入院を防ぐため、どんなふうに地域で支えていくかを実践しました。

そして、県に就職し保健所で働くようになり、これまでの実践に加え、入院の相談を多く受けるようになりましたが、再発し入院が必要になったときには、できるだけ早期に入院することが、退院後再び、その地域で暮らす障害者にとって良い予後につながることを知りました。

— 保健所・本庁・精神保健福祉センターを経験されましたが、どのような業務にやりがいを感じますか？

どんな仕事もやって楽しいです。愚痴も多いですが…。人と話ながら進めていく仕事が大好き。だから大学進学の際に社会福祉を選びました。そしてソーシャルワーカーになり、多くの人と出会いました。障害者だけでなくその家族の方やその他の関係者、もちろん仕事の仲間もそうです。

— 本庁の仕事で苦勞する点はどのようなことですか？

計算！僕は計算が大の苦手です。昨年一年間はこれまで生きてきた人生の中で最も多く電卓をたたきました。同じ計算をしても電卓をたたくたびに答えが違ふ毎日が続いています。桁数が増えてくると、「一、十、百、千…」と心の中でつぶやかなければ数字が読めません。そんな僕に県の大事な財政をさわらせるなんて…。

— 本庁業務は難しいだろうなと想像するのですが、忙しい業務の間の気分転換の方法を教えてください。

仕事中には特別気分転換していません。ただ、仕事が終わると毎日のようにどこかの飲み屋にいるらしい。

— 今後の抱負を教えてください。

おかげさまで、いろんな経験をさせていただきました。今後はこの経験を生かし、現場へ戻していただければ、物わりの良い相談員になると思うのですが…。

— 中川さんから、次の相談員さんのご紹介をお願いします。

シリーズが始まって以来、男性が続いていますので、和歌山には女性の相談員もいますよーというところを知っていただくために、新宮保健所の太田順子を紹介いたします。

研修のお知らせ

思春期精神保健研修会

日時 平成14年8月30日(金) 場所 和歌山ビッグ愛 204会議室
10:00~12:00 「現代子ども考」 和歌山信愛女子短期大学 助教授 桑原 義登
13:30~15:30 「広汎性発達障害者児の療育について
— 紀南地方の実践レポート —」 紀南総合病院新庄別館 医師 宮本 聡

思春期の子どもたちのいじめや不登校、家庭内暴力などが社会問題化して久くなる。今回の研修では、思春期精神保健の領域に携わる方々を対象に、思春期の心理と行動についての理解を深め、その対応を学習する事を目的とする。

精神障害者訪問介護員(ホームヘルパー)講習会

講義 平成14年9月11日(水)
社会保険紀南総合病院新庄別館 会議室
施設研修 平成14年9月12日(木) 17日(火)
社会福祉法人やおき福祉会 やおき工房他
募集定員 60人

○ 講義プログラム(第1日目)

- ・精神障害の基礎知識
社会保険紀南総合病院新庄別館 別館長 川崎 元
- ・精神障害者ホームヘルプサービス-援助内容と援助特性-
紀南障害者地域生活支援センター ケアネージャー 村上 和也
- ・精神障害者を持つ家族の立場として
和歌山県精神障害者家族会連合会 会長 大島 信雄
- ・精神保健福祉施策と制度
精神保健福祉センター 主査 長島 隆

○ 施設研修(第2日目)

講義及び施設学習・見学

講義 平成14年10月9日(水)
和歌山ビッグ愛 801会議室
施設研修 平成14年10月11日(金) 16日(水) 18日(金)
社会福祉法人一麦会(麦の郷)
募集定員 120人

○ 講義プログラム(第1日目)

- ・精神障害の基礎知識
国保野上厚生総合病院 精神科医長 上野 半兵衛
- ・精神障害者ホームヘルプサービス-援助内容と援助特性-
麦の郷高齢者地域生活支援センター ケアネージャー 日野のぞみ
- ・精神障害者を持つ家族の立場として
和歌山県精神障害者家族会連合会 会長 大島 信雄
- ・精神保健福祉施策と制度
精神保健福祉センター 主査 長島 隆

○ 施設研修(第2日目)

講義及び施設学習・見学

平成14年度和歌山県精神保健福祉協会総会記念講演(和歌山こころのつどい)

テーマ 「ホームヘルプサービスとグループホームの意義と課題について」
講師 愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所 三田 優子
日時 平成14年9月30日(月) 場所 和歌山ビッグ愛 大ホール

編集後記

4月から新たな業務が加わり、あわただしく3ヵ月が経過しました。居宅生活支援事業も始まり、精神障害者福祉もいよいよこれからという感じです。それぞれの関係者が連携を密にして、よりよい制度にしていく必要があります。

ところで、最近所長の機嫌がよくありません。どうやら、阪神タイガースの順位に多分に左右されている様子です。

